

【所属名：環境生活課】

【会議名：第2回糸魚川市環境審議会】

会 議 録

作成日 平成23年10月18日

日	平成23年10月17日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	市役所 203・204 会議室
件名	議題 糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について（公開）				
出席者	【出席者】 13人 佐藤(芳)委員 鷺澤委員 岩崎委員 小笠原委員 小野委員 恩田委員 小林委員 清水委員 杉野委員 田村委員 山岸委員 山本委員 吉田委員				
	【欠席者】 2人 磯貝委員 佐藤(晋)委員				
	【事務局】 米田市長、吉岡部長、渡辺課長、渡辺副参事、福光主査、井上主任主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

1	開会	進行 渡辺課長
2	市長あいさつ	米田市長
3	会長あいさつ	佐藤(芳)会長
4	糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に係る諮問	
5	議事	
	(1) 糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定方針について 事務局より資料No.1に基づき、「策定の趣旨」「策定体制」「策定スケジュール」について説明 《質疑なし》	
	(2) 糸魚川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案について 事務局より資料No.2に基づき、計画案について説明	
	① 第1章第1節について	
	【委員】 地球規模の大きな問題を議論するのは難しい。	
	【事務局】 国では、2020年までに1990年比25%削減、2050年までに80%削減を目標に掲げている。糸魚川の将来推計では、2020年に21.2%削減にとどまる見込みであり、目標達成に向けその対策を次回以降審議いただく予定であるが、本日は温暖化の背景やこれまでの経過を記載している部分の説明となり、審議する部分が少なくなっていることをご理解いただきたい。	
	【委員】 当審議会では、事実確認が趣旨となるだろう。	

② 第1章第2節について

【委員】 地球温暖化対策の推進に関する法律に、計画策定の年度指定はないのか。

【事務局】 目標年度等の指定はない。

市に計画策定の義務はないが、県内7市1町が策定済の現状を踏まえ策定を進める。

【委員】 計画策定の市の方針（スタンス）が見えない。

【事務局】 糸魚川市の現状では、策を講じなくても温室効果ガスの排出量が削減傾向にあるが、国の目標+ α の目標に向かって計画を策定したいと考えている。

【委員】 地球温暖化防止対策を考えるにあたって、排出量を抑えることだけ考えればよいのだろうか。二酸化炭素の受け皿となる森林の保全も大切である。現状把握の部分で森林面積等もしっかり把握して、考えに入れるべきではないか。

【事務局】 策定マニュアルに基づき、温室効果ガスの排出に関することのみが記載されているが、糸魚川らしい計画を策定するとなれば、広大な森林を活かしていくことも計画に位置付けることによって市の方針として出していけるのではないかと考えている。

【委員】 地球温暖化の問題は矛盾している（企業振興と二酸化炭素の削減）。

【事務局】 20年間の二酸化炭素排出量は、産業系13%減、家庭34.2%増、業務系43%増となっており、企業努力があると考えられる。逆に我々の生活見直しを考える時代なのかと思われる。

【委員】 セメントは、現在6割の燃料で製造できるまでになっていて、企業努力の限界まできている。

【委員】 産業の振興は温暖化にとってはマイナスとなり矛盾が生じてしまう。将来にわたって暮らしやすい環境を守るとなると、このような温暖化対策の議論も重要となってくると思う。

【委員】 計画案の項目は、策定マニュアルに基づいて記載しているのか。

【事務局】 策定マニュアルに基づいて記載している。

③ 第2章第1節について

【委員】 温室効果ガス排出量の算定式をみると、この算定式では、糸魚川市がノーマイカー通勤等の施策を講じても、糸魚川市としての削減量に対する影響がわずかなものになってしまうのではないか。

【事務局】 県でも施策を推進しているので、分母（県全体）が減れば、必然と算定数値が減ると考えていただきたい。

糸魚川市だけの排出量数値の把握は難しい。

【委員】 日本は、2009年に4.1%減となっているが、本当に削減できているのか。

【事務局】 海外取引も加味している。

【委員】 糸魚川市における温室効果ガスのそれぞれの割合は？

【事務局】 糸魚川の割合は不明である。

【委員】 車人口が増えているのに、糸魚川市の運輸部門の排出量が下降しているのはなぜか？

【事務局】 2005年に入港船舶数が大きく増え排出量が高くなったが、現状では下降傾向となっている。

【委員】 大気中の二酸化炭素濃度等調査しているのか。

【委員】（環境センター長）二酸化炭素は測定していない。ピンポイントの測定は難しく、一般の

空気であれば、地域別の違いはないといわれている。

【委員】 いろいろな資料（人口動態等）を提示いただき、多くの側面から議論をしたい。

④ 第2章第2節について

【委員】 地球温暖化によってどうなるのかをしっかりと示し、分析して、市民に働きかける対策をお願いしたい。

【委員】 写真を付け、事例をあげれば、本気度が上がるのではないか。

【事務局】 工夫してみたい。

【委員】 運輸部門において、自動車の保有台数が多いことをきちんと全国と比較して表示しておけば、今後の施策が述べやすくなるのでは。

今後の施策の可能性として、森林面積等の情報を記載しておくべきではないか。

6 その他

【事務局】 次回日程について報告

本日配布資料の説明

7 閉会 鷺澤副会長